

大項目	中項目	小項目	回答
1 基本仕様	1 共通	1 病院情報システム（以下HIS）と再来受付機をTCP/IPのLAN接続をし、ソケット通信で接続できること	
1	1	再来受付機にて、患者が受付操作を行うことにより、以下の内容を上位システムに送信できること ・患者ID ・受付日時 ・希望受診科	
1	1	3 タイマによる自動運転ができること	
1	2 本体機能	1 再来受付機の台数は3台とする	
1	2	2 制御装置、表示装置、カード読取装置を内蔵した一体型装置であること	
1	2	3 メモリは2GB以上であること	
1	2	4 主記憶装置はSSDを採用し容量は32GB以上であること	
1	2	5 自然な姿勢にて無理なく操作できること	
1	2	6 表示部分は、19インチ以上のカラー液晶ディスプレイであること	
1	2	7 入力操作部は、表示と一体となったタッチパネル方式であること	
1	2	8 人感センサを内蔵していること	
1	2	9 ハードディスクレス機構により、静音で駆動部の故障を抑えた構造であること	
1	2	10 オプションでバーコードリーダの搭載が可能であること	
1	3 カード部機能	1 現在発行済みの診察券に対応していること	
1	3	2 診察券を取り忘れた場合、画面・音声メッセージによるお知らせができること	
1	4 画面表示機能	1 グローバル化に対応できるように7言語に対応できること	
1	4	2 画面上に表示されるボタンは誤操作を防ぐよう大きなものであること	
1	4	3 待受け・診察券排出画面には患者に判りやすいよう、アニメーション表示ができること	
1	4	4 診療科選択画面には最大16診療科ボタンを1画面に表示できること。 17診療科を超える場合は「次ボタン」にてそれ以上を表示できること	
1	4	5 併科受診の場合、選択済み項目を灰色表示（表示はされるが選択はできない状態）ができること	
1	4	6 1度の操作で最大5科まで受付ができること	
1	4	7 予約患者に対しては、上位システムより送信される以下の内容で表示・受付ができること ・予約情報（予約科、予約項目）	
1	4	8 本院の運用により、次の事項に該当する場合は、上位システムから送信される情報により受付を制限することができること。 ・一定期間保険証の確認ができていない場合 ・入院中である場合 ・長期未来院である場合 ・当日受診済みの科を受診する場合	
1	4	9 上位システム連携とは別に、特定の患者の受付拒否管理機能を搭載し、受付拒否ができること	
1	4	10 各画面に対して、患者がスムーズに操作ができるよう、各種音声ガイダンスを流せること	
1	4	11 誤った方向での診察券挿入時、磁気読み取り失敗時、診察券以外のカード挿入時にエラーを表示することができること	
1	5 受付票	1 受付票はサーマルプリント方式であること	
1	5	2 ANK、漢字JIS第一、第二水準の印字ができること	
1	5	3 受付完了後、HISより送信される以下の内容の受付票が出力できること。 また、レイアウトは本院の要望に対応できること ・患者ID ・患者氏名 ・受付日時 ・受診科名 ・受診内容 ・医師名 ・診察番号 ・予約時間（予約の場合） ・コメント（100文字以上） ・病院名 ・インフォメーション ・バーコード（患者番号）	
1	6 管理端末機能	1 再来受付機全台を一元管理できる管理端末を1台用意すること	
1	6	2 再来受付機が複数台ある場合でも管理パソコンにて一元管理可能であること	

大項目		中項目		小項目		回答
1		6		3	OSはMicrosoft Windows 10 (64bit) 以上であること	
1		6		4	メモリは4GB以上であること	
1		6		5	HDDは500GB以上であること	
1		6		6	管理端末で窓口受付機能を有すること	
1		6		7	管理端末での窓口受付機能とは別に当院が指定する電子カルテ端末に受付できるソフトウェアの提供が可能であること。ライセンスは17ライセンスとする	
1		7	管理端末制御機能	1	再来受付機の自動起動/終了時刻を設定できること。	
1		7		2	障害時の原因特定のため、管理PCにて再来受付機の通信記録を管理できること。	
1		7		3	再来受付機にエラーが発生した場合、その内容を表示できること。	
1		8	その他	1	万が一の障害発生時のダウンタイムを最小限に抑えるため、障害時の迅速な診断・処置が可能であるリモートメンテナンスができること。	